



拓殖大学工学部

ORANGE CUP 2021

第11回 アイデアのタネコンテスト

Title :
連結球 (Link Ball)、ダンスキューブ

松尾 理夏

金沢大学附属高等学校

キャッチフレーズ: おうち de みんな de ダンス

説明: 最近の若者のトレンドは K-POP のダンスを真似ることである。ダンスは特別な経験がなくても誰でも気軽に始められるスポーツである。しかし、ダンスは通常複数人で行うため、一人では形にならないことが多い。複数人でフォーメーションを確認しながら一つの作品を作り上げる必要があるのだ。

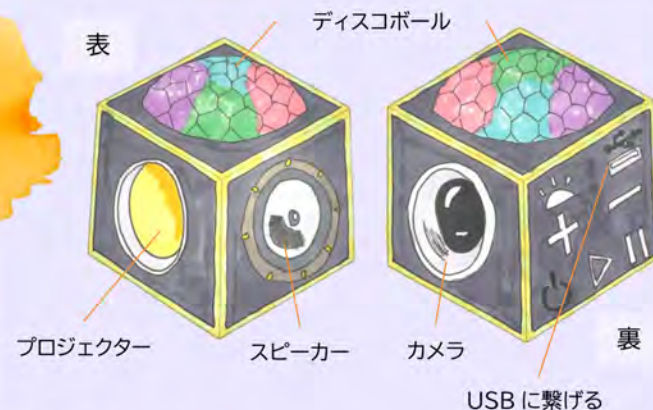
ダンスキューブは、基本的に WIFI を通じてスマホに繋ぐことで操作し、家で自分が踊っている姿をカメラでとらえ、反対の面にあるプロジェクターで手本動画と一緒に自動で合成して映し出すことができる。これによって、プロや憧れのアイドルと一緒に画面内で自分のダンスを見ながら踊ることができる。今までは鏡と手本となる動画が流れるタブレットをそれぞれ確認しなければならず、両方一度に見ることはできなかった。しかも、自宅に大きな鏡が無いことも多い。しかし、画面についているカメラで自分の姿をネット上の動画に入れ込めば、手本と比較しながらダンスすることができる。憧れのアイドルの隣で、フォーメーションを組んで踊ることもできる。

また、ICT で友達の踊る姿も自動で合成したり、リアルタイムで一緒に踊ったりすることができ、スピーカーもついているため、Zoom の機能のように友達と会話しながらダンスできる。ダンスを録画することもでき、USB と繋ぎデータの送受信ができるような仕様となっている。上のディスコボールからは色々な色の光が音楽に合わせて部屋に広がり、昭和から近代という幅広い世代のダンスのポップな雰囲気が醸し出される。

友達の振りの間違いの指摘、プロや友達とぴったりと動きを合わせる練習、プロからのリモート指導も可能になる、最強ダンスマシーンである。

ダンス キューブ

家で友達と一緒にプロやアイドルの隣でダンスできる。
WIFI に繋いで、スマホから操作をする。



壁と踊る人の間にダンスキューブを置く。

プロジェクターから出てくる映像には自分の姿が合成される。